

117.妊娠糖尿病患者の食事内容と栄養摂取状況に関する研究

研究の概要

妊娠糖尿病では母体や胎児に様々な合併症リスクがあります。しかし、妊娠中の身体の変化とともに食事内容が変わることも少なくありません。このことより、妊娠中の栄養管理が重要です。しかし、本邦による妊娠糖尿病患者の食事変化と栄養摂取状況についての報告は少ないため、本研究による、妊娠糖尿病患者の食事内容の変化とその時期、食品・栄養摂取状況についての検討が急務であります。

研究の目的と方法

本研究の目的は、妊娠糖尿病患者の食事内容の変化とその時期、食品・栄養摂取状況について検討することです。

日常診療で得られた臨床データ(年齢、生化学検査、摂取エネルギー量およびたんぱく質・脂質・炭水化物などの栄養素量など)を電子カルテから集計・統計分析を行う後ろ向き研究です。

本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、令和元年7月1日～令和2年3月31日の期間中、国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科を外来受診した妊娠糖尿病患者さん約200例を対象としています。新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。

調査期間

研究対象期間:令和元年7月1日～令和2年3月31日まで

研究実施期間:倫理委員会承認後～令和4年3月31日まで

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 今村美咲

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 今村美咲

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 今村美咲

TEL : 096-353-6501